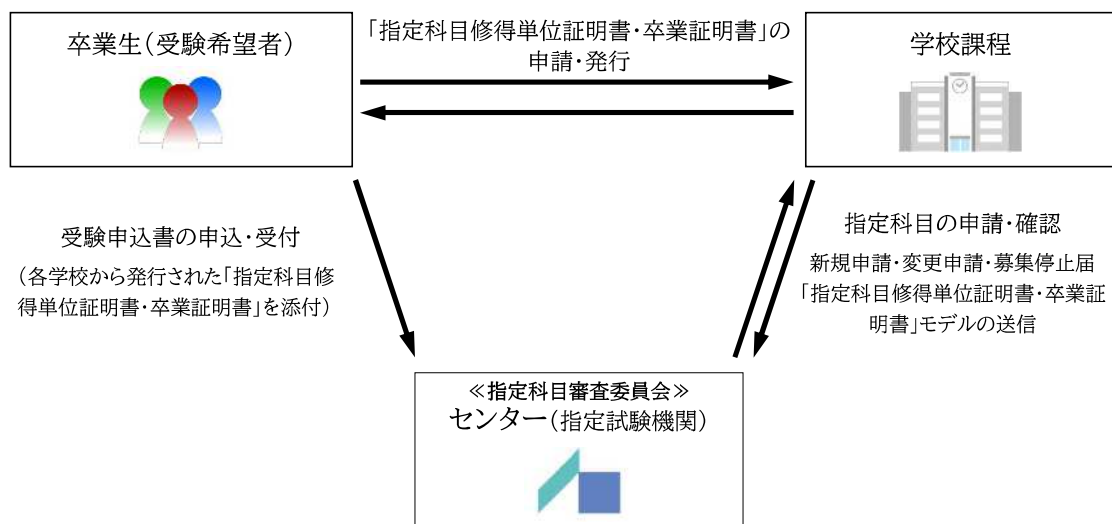


(3-2) 学校課程名称が変更となる場合

指定科目を開講している学校課程の名称が変更となる場合、募集停止届を提出したうえで新規申請が必要となります。

なお、当該課程については、例年 7 月頃に当センターから「指定科目の変更予定の問合せ」を行いますので回答時に名称の変更が適用となる対象入学年をお知らせください。

〈指定科目の確認申請・証明書発行・受験申込みのイメージ図〉



〈学校課程名称が変更となる場合の必要書類〉

1	募集停止届_～.xlsx ● Excel ファイルの別シートにある記入例を参考にして、網掛け部分に必要な事項を記入(入力)してください。 ● 申請者名は、学科長、学部長、学校長等としてください。 ● 公印は省略して構いません。 ※「募集停止となる年月日」と「募集停止する最後の入学年月及び最後の卒業年月」に誤りがないかご注意ください。 例) 修業年限4年の課程で令和6(2024)年度から課程名称が変わり、在校生にも適用する場合、 「令和6(2024)年度卒業生＝令和3(2021)年度入学生」も適用となるため、 「募集停止となる年月日」→令和4(2022年)3月31日 「募集停止する最後の入学年及び最後の入学年」→令和3(2021)年4月・令和7(2025)年3月										
2	新規 申請書様式.xlsx ● Excel ファイルの別シートにある記入例を参考にして、網掛け部分に必要な事項を記入(入力)してください。 ● 申請者名は、学科長、学部長、学校長等としてください。 ● 申請課程名は、学則等に規定されている正式名称に統一して記載してください。 ● 公印は省略して構いません。										
3	新旧対照表_～年入学.xlsx ● Excel ファイルの別シートにある記入例を参考にして、網掛け部分に必要な事項を記入(入力)してください。 ● 指定科目として申請する科目名、単位数[時間数]については、必ずシラバスと一致させてください。 ● 開講されている指定科目は、「入学年」ごとにデータベース化されますので、入学年によって指定科目が異なる場合は、「対象となる入学年」ごとに作成(様式ファイルをコピー)のうえ、提出してください。 (次年度の入学年の指定科目が前年の入学年の指定科目と同じ場合には、次年度の入学年は前年の入学年が自動で更新されますので、課程名称が変更となる入学年の「新旧対照表」のみ提出してください。) ● 「*」欄の科目変更の区分は以下のとおりです。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続</td> <td> 前回申請と同じもの ・課程名称の変更のみで指定科目について「変更」「追加」がない場合は、「*」の欄をすべて「継続」にして提出してください。 ※毎年度、一定数入力漏れがございます。ご注意ください。 </td> </tr> <tr> <td>変更</td> <td> 「開講科目の名称」「授業内容」「単位数」「履修学年」「必修・選択」の変更 ・担当教員のみの変更は該当しません。 ・教科書のみの変更は該当しません。 </td> </tr> <tr> <td>削除</td> <td> 科目を削除 ※削除の場合は、「科目名」以降の欄は空白にしてください。 </td> </tr> <tr> <td>追加</td> <td>科目の追加申請</td> </tr> </tbody> </table>	区分	説明	継続	前回申請と同じもの ・課程名称の変更のみで指定科目について「変更」「追加」がない場合は、「*」の欄をすべて「継続」にして提出してください。 ※毎年度、一定数入力漏れがございます。ご注意ください。	変更	「開講科目の名称」「授業内容」「単位数」「履修学年」「必修・選択」の変更 ・担当教員のみの変更は該当しません。 ・教科書のみの変更は該当しません。	削除	科目を削除 ※削除の場合は、「科目名」以降の欄は空白にしてください。	追加	科目の追加申請
区分	説明										
継続	前回申請と同じもの ・課程名称の変更のみで指定科目について「変更」「追加」がない場合は、「*」の欄をすべて「継続」にして提出してください。 ※毎年度、一定数入力漏れがございます。ご注意ください。										
変更	「開講科目の名称」「授業内容」「単位数」「履修学年」「必修・選択」の変更 ・担当教員のみの変更は該当しません。 ・教科書のみの変更は該当しません。										
削除	科目を削除 ※削除の場合は、「科目名」以降の欄は空白にしてください。										
追加	科目の追加申請										

4	指定科目として申請する科目のシラバス（講義実施要領） ● 「新旧対照表_～年入学.xlsx」で「＊」欄を「変更」「追加」にした科目のシラバス（講義実施要領）を提出してください。 ● 「新旧対照表_～年入学.xlsx」で「＊」欄を「継続」にした科目は提出の必要はありません。 ● 「新旧対照表_～年入学.xlsx」に記載された科目名順に揃えて、指定科目の分類ごとにインデックス(①②③・・・⑩) をつけてください。＜写真参照＞ ● 学校独自のシラバス様式で構いません。
5	学年別授業科目一覧 ● 申請する課程の「対象となる入学生用」の「学年別授業科目一覧」を提出してください。 ● 学校独自の一覧で構いません。また、一般科目が含まれているもので構いません。
6	変更された課程名称が学校教育法等の設置基準を満たしていることがわかる書類 例1) 根拠法令に基づく 学校設置の許可証 等の写し 例2) 文部科学省の HP に掲載されている設置届出の一覧 例3) 教育委員会が公布している学科等設置規則等 ● 認可が下りるのが申請時より後になる場合は、その旨を「1 新規_申請書様式.xlsx」の 2 頁目の「備考」に記入(入力)し、Excel ファイルをメール送信する際にメールにてお知らせください。
7	寄付行為、学則等 ● 同一の学校で複数の課程を申請する場合は、1 部で構いません。
8	学校・学部規程等 ● 同一の学校で複数の課程を申請する場合は、1 部で構いません。
【留意事項】 ● 「1 募集停止届_～.xlsx」「2 新規_申請書様式.xlsx」と「3 新旧対照表_～年入学.xlsx」については、申請書類とは別に申請(郵送)いただくまでに Excel ファイルをメール送信してください。 ● すべて A4 片面で印刷してください。 ● インデックスも含めてホチキス止めしないようお願いいたします。 ● 下記、1～7については、A4 縦のファイルに一式綴じてください。 ● 「審査結果の事前通知」にて指定科目の確認が完了した場合は、「指定科目として申請した科目のシラバス(以下、「登録シラバス」と記述する)」を1つのPDFデータにしてメール提出してください。	

〈申請ファイルの作成方法〉

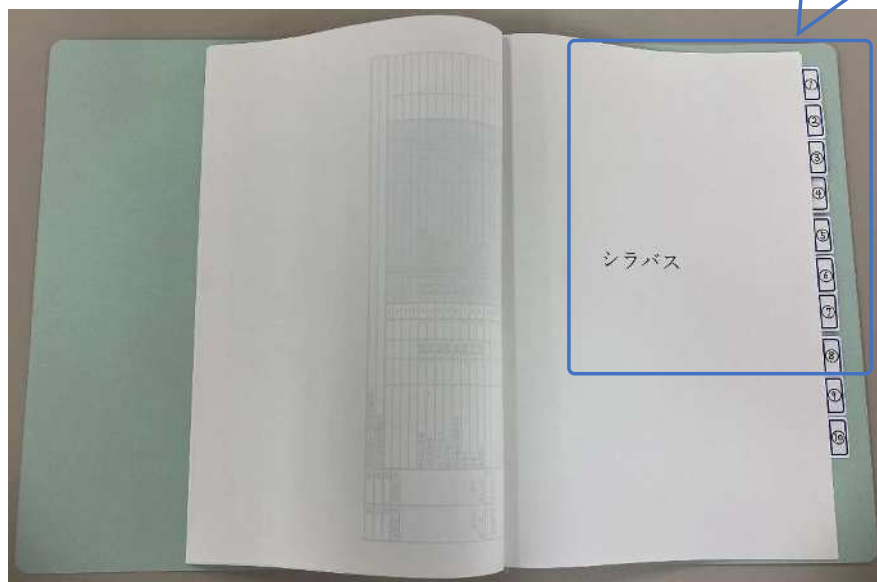
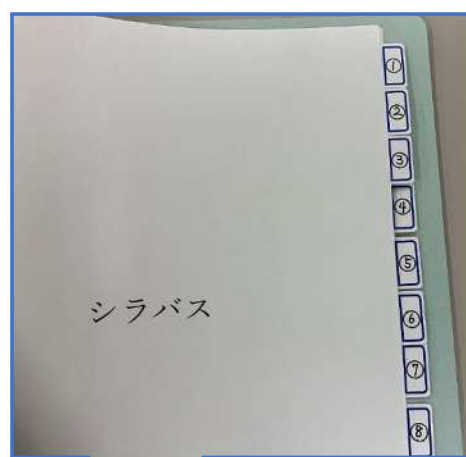
必要書類につきましては、以下の写真のとおり、A4 サイズ（片面印刷）、縦ファイルに一式として提出してください。また、ファイルの表紙には、「学校課程名」、「変更申請日」、「申請の対象となる入学年」を記載してください。なお、背表紙には、記入しないでください。

背表紙には記入しない

●●●●●学校 ●学部 ●●学科
指定科目の確認申請
申請年月日 ●●●●年●月●日

対象入学年
●●●●年入学者
●●●●年入学者

「変更・追加する指定科目のシラバス（講義実施要領）」については、新旧対照表に記載された科目名順に揃えて、指定科目の分類毎にインデックス(②③④…⑩)をつけて綴じてください。



この届出は紙ベースのもの提出とともにexcelデータをメール送信提出ください。

受付整理番号

記入しないでください

記入例

建築士試験 指定科目の確認申請(課程の募集停止届)

20XX/XX/XX 付け文書により、指定科目の確認がされた下記1の課程について、下記2のとおり募集停止しますので届出いたします。

この届に記載の事項については、最新かつ正確なものです。

公印は省略してかまいません。

入力する必要がある項目です。

公印は省略しても構いません。

公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長 殿

届出年月日
届出者役職名
届出者名令和〇年〇月〇日
〇 × 〇 × 学 校 学 長
山 田 一 郎

あらかじめ入力された様式がセンターから送信されます。

1. 募集停止する課程

学校教育法等による学校の区分	1.大学
学校課程コード	9999-999-999
更新申請日	20XX/XX/XX
認定通知日(確認日)	20XX/XX/XX
募集停止する課程	学校名
	がっこうめい
	学部名(又は課程名)
	工学部
	学科名(又は科名)
	建築学科
	コース(又は専攻等名)
対象となる最初の入学生	平成XX年
入学資格	高等学校卒業
昼間・夜間の区分	昼間
修業年限	4 年

2. 募集停止に伴う届出事項

募集停止の理由	学校統合による募集停止(建築総合大学として統合されます)
募集停止となる年月日	令和〇年3月31日
募集停止する課程の最後の入学年月	令和〇年4月
募集停止する課程の最後の卒業年月	令和〇年3月
指定科目に係る修得単位証明書等の発行の事務引継ぎ先	名称
	郵便番号
	都道府県
	住所(都道府県以降)
	電話番号
	FAX番号
	担当者名
	たんとしやめい
	担当者役職名
	Eメールアドレス
本届に係る連絡先(担当者等)	学校新設担当課長 川田 次郎(電話03-5524-3105)
その他、センターへの連絡事項等	新設学校の開校までは、川田次郎が担当となります。 在学生は、旧学校名・課程名のままで卒業します。

(第一面)

記入例(単位制):網掛け部分(赤字)が入力箇所です。「時間制」、「職業訓練校(入校資格)」は様式が異なります。

受付整理番号

記入しないでください

の確認申請書(新規申請)

本課程における別表の開講予定の科目について、建築士法第14条第一号から第三号若しくは第五号又は建築士法第15条第一号から第三号に規定する国土交通大臣の指定する建築に関する科目(以下「指定科目」という。)のいずれかに該当するものであることの確認を申請します。この申請書及び添付資料に記載の事項については、事実と相違ありません。

また、確認審査結果に基づき、適正に「指定科目修得単位証明書・卒業証明書」を発行することを誓約します。

公益財団法人 建築技術教育普及センター 理事長 殿

申請年月日

申請者役職名

申請者名

令和〇年〇月〇日

〇〇〇〇学校 学長
建築 太郎

押印略でも構いません

押印略で構いません。

申請する建築士試験

一級建築士試験

○

二級・木造建築士試験

○

「一級」を申請(○)する場合は「二級・木造」も申請(○)してください。

学校課程情報欄

入力欄

学校設置者(例 〇〇県、〇〇市、学校法人〇〇学園)	東京都	学校の区分によって、受験時・登録時の要件が異なります。	
学校教育法等による学校の区分(プルダウンから選択してください)	1. 大学		
申請する課程	学校名(根拠法令、学則等に記載されている正式名)	〇〇〇〇学校	
	学校名のふりがな	〇〇〇〇〇〇〇〇がっこう	
	学部名(又は課程名)	工学部	
	学科名(又は科名)	建築学科	
	コース(又は専攻等名)		
	国公立の区分(プルダウンから選択してください)	5. 私立	「都立」「道立」「府立」は、「2. 県立」を選
	対象となる最初の入学生(プルダウンから選択)	2023年度(令和5年度)	4月入学
	対象となる最初の卒業生(プルダウンから選択)	2026年度(令和8年度)	6月卒業
	入学資格(例 中学校卒業等・高等学校卒業等)	高等学校卒業等	入学資格によって、受験時・登録時の要件が異なる場合があります。
	昼間・夜間の区分(プルダウンから選択してください)	昼間	
	単位の考え方(単位制、時間制のどちらかを記入)	単位制	講義・演習 1単位=60分(1単位時間)×15週 実験・実習・実技 1単位=180分(1単位時間)×15週
		時間制	1単位時間当たり 000分
	修業年限(プルダウンから選択してください)	4	年
	定員(申請の対象となる1学年当たりの人数)	40	人
学校所在地	郵便番号(例 000-0000)	102-0094	単位制を入力
	所在地(都道府県)	東京都	
	所在地(都道府県以後)	千代田区紀尾井町0-0	
連絡先	連絡先郵便番号(例 000-0000)	102-0094	
	連絡先(都道府県)	東京都	
	連絡先住所(都道府県以後)	千代田区紀尾井町0-0	
	担当者名	建築 次郎	
	担当者名のふりがな	けんちく じろう	
	担当者役職名	准教授	
	電話番号(例 000-0000-0000)	00-0000-0000	
	FAX番号(例 000-0000-0000)	11-0000-0000	
	Eメールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp)	abc@eee.co.jp	
証明書関係	証明書発行部署名	教務課	
	証明書発行者役職名	証明書発行担当	
	担当者名	建築 三郎	
	担当者名のふりがな	けんちく さぶろう	
	電話番号(例 000-0000-0000)	00-0000-1234	
	Eメールアドレス(例 abcd@jaeic.or.jp)	abc-kyomu@eee.co.jp	

学校名・課程名

〇〇〇〇学校 工学部 建築学科

添付資料	○	建築士試験 指定科目の確認申請書(新規申請)
	○	建築士試験 指定科目の確認申請書 別表
	○	上記 申請書のエクセルファイル
	○	開講科目のシラバス(講義実施要領)
	○	学年別授業科目一覧
	○	根拠法令に基づく学校設置の許可証等の写し
	○	法人としての寄附行為
	○	学則等
	—	学校、学部規程等
	その他の添付資料	
備考 (第一面に記入できなかった事項、補足説明など)	「根拠法令に基づく学校設置の許可証等の写し」については 認可が下り次第、メールにて改めて送付する。 代わりに申請届の控えを添付する。	
	連絡事項等ございましたら適宜記入してください。	

指定科目の確認申請書 新旧対照表【単位制の場合】

記入例

変更申請年月日

令和〇年〇月〇日

学校名・課程名

建築教育学校 建築課程 建築科

対象となる者の入学年

令和6年

*

継続: 前回申請と同じもの

変更: 科目名、授業内容、履修学年又は必修選択を変更

削除: 科目を削除

追加: 科目の追加申請

指定科目の分類		現在の指定科目				変更等(「削除」の場合、「科目名」以降は記入しないでください)					※指定科目該当有無の確認			
二級・木造	一般	科目名	履修学年	必・選	単位数		*	科目名	履修学年	必・選	単位数	該当有無	備考	
①建築設計 製図 実務0～2年 (5単位以上) 実務3～5年 (3単位以上)	①建築設計 製図 (7単位以上)	設計製図Ⅰ(戸建住宅)	1	選択	1	⇒	変更	① 設計製図Ⅰ(戸建住宅)	2	選択	1			
		設計製図Ⅱ(集合住宅)	2	必修	2	⇒	継続	① 設計製図Ⅱ(集合住宅)	2	必修	2			
		設計製図Ⅲ(小規模公共建築物)	3	選択	2	⇒	削除	①						
		CAD演習Ⅰ(オフィスビル)	2	必修	2	⇒	変更	① CAD演習Ⅰ(小規模施設)	2	必修	2			
		CAD演習Ⅱ(複合施設)	3	選択	2	⇒	変更	① CAD演習Ⅱ(大規模複合施設)	3	選択	2			
		CAD演習Ⅲ(大規模建築物)	3	選択	2	⇒	削除	①						
						⇒	追加	① 設計製図CAD応用	3	選択	2			
単位数小計	単位数小計				⇒		①							
9	9				⇒		①							
②～④ 建築計画、 建築環境工 学又は建築 設備 実務0～2年 (7単位以上) 実務3～5年 (2単位以上)	②建築計画 (7単位以上)	住居計画Ⅰ(戸建住宅)	1	必修	2	⇒	変更	② 建築計画Ⅰ(戸建住宅)	1	必修	2			
		住居計画Ⅱ(集合住宅、複合施設)	2	必修	2	⇒	変更	② 建築計画Ⅱ(集合住宅等)	2	選択	2			
		日本建築史	3	必修	1	⇒	削除	②						
		西洋建築史	3	選択	2	⇒	削除	②						
		近代建築史	3	選択	2	⇒	変更	② 近代建築史	3	選択	2			
		建築意匠論	4	選択	2	⇒	変更	② 建築意匠論	4	選択	2			
						⇒	追加	② 建築史	3	選択	2			
						⇒		②						
						⇒								
						⇒								
						⇒								
		単位数小計	単位数小計				⇒							
		10	10				⇒							
③建築環境 工学 (2単位以上)	③建築環境 工学 (2単位以上)	室内環境工学(温度、湿度)	2	必修	2	⇒	変更	③ 室内環境工学(温度、湿度)	2	選択	2			
		建築環境工学(騒音、明るさ)	3	選択	2	⇒	削除	③						
		音環境設計	4	選択	2	⇒	継続	③ 音環境設計	4	選択	2			
						⇒	追加	③ 室内環境工学応用	4	選択	2			
		単位数小計	単位数小計				⇒		③					
6	6				⇒		③							

【注意事項】

- ・前回申請と同じ科目については、「*」欄を必ず「継続」にしてください。
- ・科目を削除する場合は、「科目名」以降は、空白にしてください。

【注意事項】

- ・前回申請と同じ科目については、「*」欄を必ず「継続」にしてください。
- ・科目を削除する場合は、「科目名」以降は、空白にしてください。

単位数小計	④建築設備 (2単位以上)	空調設備	2	必修	2	⇒	削除	④					
		給排水設備	2	選択	2	⇒	変更	④	給排水設備	2	選択	2	
		電気設備	3	選択	2	⇒	変更	④	電気・空調設備	3	選択	3	
		建築設備計画	3	選択	2	⇒	継続	④	建築設備計画	3	選択	2	
						⇒		④					
						⇒		④					
						⇒		④					
						⇒		④					
						⇒		④					
						⇒		④					
23	7					⇒		④					
⑤～⑦ 構造力学、 建築一般構 造又は建築 材料 実務0～2年 (6単位以上) 実務3～5年 (3単位以上)	⑤構造力学 (4単位以上)	基礎力学	1	必修	2	⇒	継続	⑤	基礎力学	1	必修	2	
		建築構造力学Ⅰ	2	必修	2	⇒	変更	⑤	建築構造力学Ⅰ	3	選択	2	
		建築構造力学Ⅱ	3	選択	2	⇒	変更	⑤	建築構造力学Ⅱ	3	選択	2	
		建築振動論	4	選択	2	⇒	継続	⑤	建築振動論	4	選択	2	
		建築構造解析	4	選択	2	⇒	継続	⑤	建築構造解析	4	選択	2	
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
						⇒		⑤					
	単位数小計					⇒		⑤					
	8					⇒		⑤					
	⑥建築一般 構造 (3単位以上)	建築構造基礎	2	選択	1	⇒	継続	⑥	建築構造基礎	2	選択	1	
		建築構造計画	2	選択	1	⇒	変更	⑥	建築構造計画	2	選択	1	
		鉄筋コンクリート造構造	2	必修	2	⇒	変更	⑥	鉄筋コンクリート造構造	2	必修	2	
		鋼構造	3	選択	2	⇒	継続	⑥	鋼構造	3	選択	2	
		特殊構造論	3	選択	2	⇒	削除	⑥					
						⇒		⑥					
	単位数小計					⇒		⑥					
	6					⇒		⑥					
	⑦建築材料 (2単位以上)	木質材料	4	選択	1	⇒	継続	⑦	木質材料	4	選択	1	
		コンクリート材料	4	選択	2	⇒	変更	⑦	コンクリート材料	3	選択	2	
		建築材料一般	4	選択	3	⇒	削除	⑦					
						⇒	追加	⑦	建築材料実験	4	選択	2	
	単位数小計					⇒		⑦					
	19					⇒		⑦					
⑧建築生産 (1単位以上)	⑧建築生産 (2単位以上)	建築生産Ⅰ	3	選択	3	⇒	継続	⑧	建築生産Ⅰ	3	選択	3	
		建築生産Ⅱ	4	選択	1	⇒	削除	⑧					
						⇒	追加	⑧	建築施工法	4	選択	1	
						⇒		⑧					
4	4					⇒		⑧					

[illegible]